

## 葬儀の現場から ～感謝で見送るお葬式～

感謝で見送るお葬式を創造し提供するということを信条に、私達は一人一人のお見送りに携わらせて頂いております。

当然ながら、お一人お一人の送られてきた人生がそれぞれ違う様に、その人の人柄・家族構成・年齢・趣味・仕事・好物・好きな色・好きな音楽・好きな本やテレビ番組等、言い出したらキリがありませんが、一つとして全く同じものはありません。お葬式・お見送りのカタチも全く同じというものは一つとして無いと思っています。たとえ、全く同じ飾り付けや返礼品を用意したとしても、参列する人や寄せられる想いや好きだった物が違う様に、それぞれ全く違うお見送りになります。

又、お葬式の記憶というのは後々、故人様の事を振り返った際に印象深く蘇る記憶にもなるとも言われております。最期は感謝の気持ちを持って後悔のないお見送りをして頂きたいと私達は考えております。その為には、故人様がどういった方だったのか？故人様との思い出は？特に印象に残っているお姿は？という様に、まずはご家族を中心とした近しい方々に故人様の事をお聞かせ頂いております。

お話をさせて頂く事によって、ご家族も故人様との思い出を呼び起こすキッカケとなり、「そういえば旅行に行った時にこんな事があった」とか、他の家族が知らないお話がでてきて「え？そんなことあったの!？」と初めて知った思い出話に花が咲いたり、「そういえば、あなたが学生時代に厳しく接していたと思うけど、あの時は実はこんな想いでいたのよ」という当時は知らない想いを知るキッカケとなる場面になることもあるようです。

そして、故人様に対してお気持ちを向けて頂き、感謝の気持ちをどのように伝えていけば良いか？故人様らしいものは何か？を一緒に考えるお手伝いをさせて頂いております。又、家族同士では中々話をしづらい事を第三者に話す、という行為自体にも意味があります。大切な存在を失った時グリーフ(悲嘆)状態と言って、様々な感情や想いを、外に向けて吐き出すことができず心の中いっばいに貯めてふたをして抑え込んでしまうことがあります。第三者に話すことにより、心のふたが開きかけとなり、感情や想いを外に向けて吐き出すことで、少しでも心のスペースを作ることができる一助にも繋がると思います。大切な故人様を感謝の気持ちでお見送りする・記憶に残るお見送りの為には何が出来るか？を私達は日々考えております。ぜひ、私達にお話をお聞かせ下さい。



戸田直記

## あとかぎ

2023年は気温が平年並みか高い所が多く、暑さが厳しい夏となりそうです。暑くなってくると心配なのが熱中症です。熱中症対策として、暑さを避け無理をしないことが大切です。室内でも状況によっては熱中症にかかってしまう場合があるため注意が必要です。

熱中症対策として屋外では…①暑さを避ける(暑い時間帯を避ける、日陰の利用、日傘、帽子を着用する)、②こまめに水分補給をする。

室内では…①室温と湿度に気を付ける(温湿度計で目に見える形で確認する)、②エアコンや扇風機で室温や湿度を適度に保つ。③のどが潤いていなくても、こまめな水分補給と適度な塩分補給。

まだまだ暑い日々が続きますが、皆さんも無理せずに夏の暑さを乗り越えましょう。



出口秀美

お問い合わせ  
資料請求

フリーダイヤル  
0120-44-5880

365日24時間対応しております。

【通話無料】携帯電話でもつながります。

お急ぎの方は  
電話にて  
対応いたします。

ドリーマーご自宅出張  
無料事前相談実施中 !!

◆ドリーマーではお葬儀前に必ず全体的なお見送りをお客様に提示してまいります。  
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。  
◆後で想定外の費用が発生する事はありません。

ドリーマーの  
ご葬儀費用

## 役に立つ葬儀の話 Vol.79

### 「香典返し」

香典返しの品物は、その品を使うたびに故人を思い出して頂くことが供養になるといわれ、差し上げた皆様にもいつまでも喜んで頂ける品を選ぶのがよいとされていました。

#### 【品物の選択】

昔は華美でない品物を選ぶことが良いとされており、選ぶ品物には下記のような意味がこめられていました。

【お茶・海苔・砂糖】…消耗品である事から不幸を消滅させる。

【繊維製品】…実用品としても喜ばれる品ですが、仏事では白装束で旅立つという意味からサラシが利用されてきました。その関係でタオル・ハンカチ・数布・毛布という流れになったようです。

【金物】…銅製品・アルミ・ステンレスなど光る物は、魔除けの意味で広く使われていた為。

【漆器】…不幸を塗り潰すと言って、永く使うことができる物の為。

【陶器】…土に還るから、故人の冥福を祈る物として多く使われる為。

#### 【今までの手順】

香典返しは忌明け前後に行う事が多く、品物に「無事に法要が終わりました」という通知とお礼を兼ねた文章を添えます。お返し先のリストアップをし、カタログから香典金額にあった品物(三分の一か、半分に当たる金額)を選択して、相手先に送ります。その他に、相手先に商品を決めて頂く「カタログギフト」などもあります。

#### 【新しい手順】

これまでのお返しの仕方では、住所を確認してリスト作成し、商品の選択にも悩み、送料の負担もありました。葬儀後の慌ただしい中では、遺族にかかる負担が大きいのも事実です。その負担を軽減できる方法として、近年全国的に広まっているのが、葬儀で頂いた香典金額に応じて、本来は忌明け前後にお返しする香典返しを、その場でお渡しするというものです。芳名カードに香典金額を記入して頂き、香典金額にあった商品をお渡しします。葬儀当日に香典返しをお渡しするので、返し漏れが防げる事やリスト作成、送料の負担が軽減されます。選択される方も増えており、今の時代に合った合理的な方法なのかもしれません。



小番英之

## はなだより～お盆の花～

お盆は、ご先祖様の霊をお迎え供養し、ご自宅でひと時を家族と過ごしてからあの世にお送りする行事のことです。8月13日～16日におこなわれるのが一般的ですが、地域によっては時期が異なります。そんなお盆にお供えるお花、偶数がよいか奇数がよいか迷われる方もいらっしゃるのではないでしょうか。お盆にお供えるお花は3本(3種)5本(5種)7本(7種)と奇数が良いとされています。諸説ありますが、古くから中国では、偶数は陰数、奇数は陽数とされており、奇数は縁起が良いということからきているようです。

お墓や仏壇には両側に飾ることが多いので、左右対称になるように花束を一对用意すると良いでしょう。最近では生花以外のお供えもあります。得に夏場は生花の持ちが良くないということもあり、いつまでも美しく、お手入れも簡単なプリザーブドフラワーやアーティフィシャルフラワーのお供えは人気が出てきています。季節を問わず、故人様の好きだったお花をお供えすることができますし、お部屋の雰囲気に合わせてお花を飾ることもできます。デザインも様々なものが出ていますので、お花屋さんでチェックしてみてくださいね。



フラワースペースデザイン部でも、お盆のお花をご用意しております。生花、プリザーブドフラワー等をご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。また、お誕生日や記念日、送別会等様々なシーンに合わせた花束やアレンジメントを承っております。大切なあなたの想いを伝えるお花をお作り致します。インスタグラム『fsd\_dreamer』でチェックしてみてくださいね。

フラワースペースデザイン部 0897-53-8788